



はじめに

大田区しょうがい者の日のつどいは、昭和56年に第1回を開催し、令和2年度は、コロナ禍の中、第40回を映像形式で開催しました。令和3年度には、開催形式を検討し、見直しを進め「つどい」のおもいをつなぎ、令和4年度から「[おおた みんなのつどいプロジェクト](#)」として理解啓発事業を新しい形で取り組んでいます。

この報告書は、「みんなのつどいプロジェクト表彰」を受賞された「障がいのある人もない人も笑顔になる地域活動」を冊子にまとめたものです。こうした活動がさらに広がり一人ひとりに心のバリア(障壁)のない社会を目指してまいりましょう。

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

## ……………目 次……………

### 笑顔大賞

- くすのき園の用地の一部を活用した P2  
菜園ボランティア活動「シルバー 農園」
- 「コミュニティスペース にしかまた」のお店 P5
- 無印良品&おおむすび ～ 施設利用者絵画展 ～ P8
- 障がい者福祉施設の商品(自主生産品)販売会への協力 P10  
～ マチノマ大森 会場～
- 障がい者福祉施設の商品(自主生産品)販売会への協力 P12  
～ グランデュオ蒲田 会場～
- ……おおむすび 障がい者福祉施設の商品…… P14

### にっこり大賞

- 障がいのある方への情報保障 P15
- 聴覚障がい者の交流と理解 P17
- 「心のバリアフリーすすめ隊」～知的障がいの理解啓発活動～ P18
  
- 実行委員会 委員の意見・感想の一部を紹介します！ P19
- おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会 P20
- おおた みんなのつどいプロジェクト表彰実施要綱 P21

笑顔大賞

# くすのき園の用地の一部を 活用した菜園ボランティア活動 「シルバー 農園」

## 1 活動団体

公益社団法人 大田区シルバー人材センター

## 2 取組の内容

大田区シルバー人材センターの会員は、大田区立くすのき園の空地の一部を活用して、くすのき園の利用者との交流を目的とする菜園ボランティア活動をスタートしました。

シルバー人材センターの会員とくすのき園の利用者が協力して、可能な範囲で土地を耕作し、作物等を栽培することを通して、地域との連携を図っています。

平成3年6月にくすのき園の裏にあった空地の整備を行い畑として使えるよう土壌改良し、4区画の畑ができました。

□参加会員数 リーダー 7名 会員 37名

□活動日 月・水・金の週3日の午前

□活動内容 色々な作物を育てています。

☂ 雨の日はお休みです。



春は キヌサヤ・ナバナ、ジャガイモ

夏は 坊ちゃんカボチャ、ナス、トマト、キュウリ、ゴーヤ

秋は サツマイモ、サトイモ

冬は コカブ、春菊など

令和4年10月14日

くすのき園の「みんなで楽しむ交流会」で利用者さんたちとサツマイモと里芋を収穫しました。大きなサトイモの葉っぱは、「トトロの世界」でした。

「シルバー農園」を多摩川の土手から覗いてみてください。

### イベント

令和3年6月28日(月) 開園式

令和3年10月29日(金) サツマイモ掘り会

令和4年6月17日(金) ジャガイモ収穫祭

令和4年10月14日(金) みんなで楽しむ交流会(サツマイモ・里芋掘り)

3 活動を通して(利用者の声・職員の声)	
	<p>○利用者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サツマイモ掘り楽しかったです。焼き芋にしました。すごく甘くておいしかったです。</li> <li>・ジャガイモが大きくて掘るのが大変でした。シルバー人材センターの方が掘り方を優しく教えてくれたのが嬉しかったです。</li> <li>・シルバー人材センターの方々がいいつも頑張っているのを見て、負けないようにくすのき園の仕事を頑張ろうと思いました。</li> </ul> <p>○職員の声</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアありがとうございます。荒れていた土地がきれいに生まれ変わりました。</li> <li>・いろいろな野菜が育つと緑豊かで季節も感じられ、心も穏やかになります。</li> <li>・散歩の方などに菜園について声を掛けていただくことがあります。地域の方とのコミュニケーションのきっかけになっています。</li> </ul>
4 活動を通して(シルバー人材センター会員の声)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くすのき園利用者の方も楽しみにしてくれていますが、私たちも楽しみです。</li> <li>・利用者の方との芋ほりは、毎回感動しています。</li> <li>・土いじりの苦手な利用者の方も、大きな芋が採れると、喜んでくださいます。</li> <li>・月 2 回ほどの当番ですが、毎回作物の育て方を勉強しながら作業しています。</li> </ul>
5 団体の連絡先	
	<p>公益社団法人 大田区シルバー人材センター  大田区仲六郷 1-6-9-125  電 話:03-3739-6666  F A X:03-3734-0722</p> <p>メール:<a href="mailto:ota@sjc.ne.jp">ota@sjc.ne.jp</a>  ホームページ:<a href="https://www.ota-sjc.or.jp/about/">https://www.ota-sjc.or.jp/about/</a></p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p><b>会員募集！しています。</b></p> <p>区内在住の 60 歳以上の方なら入会できます。  単に就職先を紹介するのではなく、健康で働く機会がほしいという会員に、臨時的かつ短期的又は軽易で高齢者に向けた安全な仕事の提供に努めています。</p> <p>さらに就業だけでなく、ボランティア活動等の社会貢献に役立つ事業の企画、運営、実施等にも積極的に取り組んでいます。</p> </div>

【シルバー農園での活動の様子】



がんばって！  
かんばって！



大きな葉っぱの下から、  
大きなサトイモが収穫できました。

# 「コミュニティスペース

# にしかまた」のお店

## 1 活動団体

コミュニティスペース にしかまた運営委員会

## 2 取組の内容

### 1 地域の方々に軽食などを安価で提供している店

- 精神障がい者の働き場・活動の場です。
- 場所は、商店街の一角にあり、近くに小学校もあり、近所の方、散歩する方、シニアクラブ等の団体さんたち、子どもたちが気軽に安心して立ち寄ってくれます。

### 2 地域のお休み処

- 手押し車のお年寄り、習い事の帰りに集まって団らんする地域の方々、時には、近くの工事現場で働いている方の休み処です。時折、近くの小学校の子どもの声がBGMのように聞こえてくる中、ゆったりと過ごすことができます。お弁当の持ち込みも出来ます。

### 3 各種イベント・地域の情報交流の場

- 読書会  
第三・四火曜日の午前中、人や歴史をテーマにした読書会を開いています。  
(出席者4名、うち2名は障がい者です。)
- リサイクル品の販売  
いらなくなった物、捨てるには惜しい物を提供して下さる方と質の良いものを安く手に入れることを楽しみにしている方、そんな、提供者と買い手との仲介場所ともなっています。時には、ミニバザーも開催しています。
- 車いす貸し出し
- 商店街と一緒にこども向けクリスマス会の開催
- フードドライブの拠点 ～地域の人たちとつながる～
- スマートフォン相談会 ～地域の高齢者を迎える～



精神障がいを理解していただくためには、  
当事者と家族と地域の人たちとの交わりが大切です。

### 3 活動を通して(近所の方々や協力者の声)

○ 地域における公益的な取り組みとして「コミュニティスペース にしかまた」で共に活動しています。人々の暮らしが多様化する中で、精神障がいについて、既存の施設・事業所だけでは抱えきれない地域の課題が山積しています。今一度、「地域共生社会の実現」に向けて、気軽にふれあい、支え合える機会がもてるよう法人としても日々積極的に地域貢献の実践に取り組んでいきたいと考えます。

(社会福祉法人プシケおおた)

○ コロナ禍の状況下でお店を休まざるを得ませんでした。その期間、近隣の人たちから、いつ店が開くのかと聞かれることが、たびたびありました。

(家族会)

○ 周辺の地域住民の方々に「コミュニティスペース にしかまた」の活動を知っていただき、そこで働く精神障がい者についても地域の理解を深めていただくことを目指してまいります。

(地域福祉コーディネーター)

○ スマートフォン相談会を通じて「コミュニティスペース にしかまた」の活動を知っていただくのはもちろんですが、障がいのある方が地域の方とつながりをもちながら、いきいきと暮らしていけるための一助として役立つことが出来れば幸いです。

(地域包括支援センター西蒲田)

○ ミニバザー開催は、「著名デザイナーの古着を含む古着の段ボール十数個あるから」との地域の方が声をかけてくれたことがきっかけです。

(ボランティア)

### 4 活動を通して(コミュニティスペース にしかまた運営委員会の声)

○ 一人暮らしの障がい者や高齢者が、孤立しないように気軽に立ち寄れる場となることをめざしています。喫茶、軽食を提供し、初めて出会う人もいつの間にか仲間のような、そんな感じで「居場所」となり、地域の情報を共有し、助け合いの地域づくりに貢献したい。

○ 安心して集まり、気軽に笑顔で話すことの出来る場所、それが「コミュニティスペース にしかまた」のお店の目的です。そうしたことが障がいの垣根を超えて、共に生きていく社会づくりになっていくと思います。

○ 近所の「ボランティアグループしおん」が、生活に困窮する地域住民の為にフードパントリーを立ち上げ、「コミュニティスペース にしかまた」も拠点の一つになりました。

精神障がい者の方だけでなく地域の高齢者、子ども、地域の中での助け合いの仕組みの一助となるよう今後も地域に協力していく活動に前向きに取り組んでまいります。

○ 「コミュニティスペース にしかまた」のミニバザー(フリマ)は、品質が良く、とびきり安価で地元の高齢者に人気です。

【ミニバザー】

6/26(夏物衣類、雑貨) 10/30(秋冬物衣類、雑貨)に開催しました。当事者スタッフとボランティアは、ハツラツ笑顔と元気をいただきました。

「こういうの好き？」 当事者スタッフの「うん。」「はい！」忘れられません。

## 5 団体の連絡先

コミュニティスペースにしかまた(CSにしかまた)

住所:大田区西蒲田1-18-13

電話:080-2139-9805

【推薦者】

社会福祉法人プシケおおた

ミニバザーは、たくさん方に喜んでいただきました。  
当事者のスタッフも頑張ってくれました。



お近くにいらっしゃいましたら「コミュニティスペースにしかまた」にお寄りください。

ポスターは、東京工科大学の学生さんが作成してくれました。

笑顔大賞

# 無印良品 & おおむすび～施設利用者絵画展～

## 1 活動団体

無印良品グランデュオ蒲田

## 2 取組の内容

### 【無印良品&おおむすび 絵画展】

無印良品では、地域貢献の一環として、「おおむすび」をいろいろな形で応援していただいています。

#### (1) 店内レジ横に絵画を展示

障がい者施設の利用者が描いた大田区の魅力ある景観の絵画を展示し、来客者の方に感動をお届けしています。

□開催:おおむすび販売時に実施しています。  
令和4年1月から3回開催しました。

#### (2) おおむすび販売時の協力

グランデュオ蒲田3階東西連絡通路での販売時には、「無印良品の什器等」を提供していただき、スタイリッシュな空間演出にご協力いただいております。



## 3 活動を通して(利用者・家族の声)

- おおむすびのPR活動の一環として大変役立っています。
  - 絵画展示により施設利用者の絵画制作に対するモチベーションがアップし、他の作業等にも意欲的になっています。
  - 施設で見学に行った際には、作品を展示していない利用者も友達作品を観覧し、友達の頑張りを認めたり、次回は、自分も描いてみようという意欲も出てきています。
  - 利用者が自身の作品を見学に行った際に、無印良品の職員の方が、写真を撮ってくれたり、丁寧な対応をしていただきました。
  - 家族とともに、自身や友達作品をみに行ったりしています。
  - 家族で出かける機会ができ、社会参加の幅が広がっています。
  - 販売会では、売り上げも良く、利用者の工賃向上及び社会参加に寄与しています。
- (おおむすびスタッフ) (利用者・家族・施設)

4 今後について	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も実施していただける予定</li> <li>○ アトレ大森にも無印良品があり、そちらでの絵画展の開催等とのお話もあります。</li> </ul>
5 団体名の連絡先	
	住所：大田区西蒲田 7-68-1 グランデュオ蒲田西館 5 階 無印良品グランデュオ蒲田 【推薦者】 大田区手をつなぐ育成会、ふれんど運営協議会 大田区生産活動支援施設連絡会



【絵画展の様子】

笑顔大賞

# 障がい者福祉施設の商品 (自主生産品)販売会への協力

～マチノマ大森 会場～

## 1 活動団体

マチノマ大森

## 2 取組の内容

### 【おおむすび マチノマ大森縁市場】

マチノマ大森の地域貢献の一環として  
1階イベントスペースをおおむすび商品  
(自主生産品)の販売場所として  
提供していただいております。

マチノマ大森は  
～自分らしい時間を過ごす。仲間と楽し  
む。現代の「ヨロズヤ+チャノマ」  
のような場所～



©大田区

## 3 活動を通して(利用者・家族の声)

- 住宅街にある商業施設で、スーパーがテナントして入っており、集客が見込め、売り上げが良いと聞いています。
- 毎回、福祉関係分野とのコラボ開催にもご尽力いただき、おおむすびの PR だけでなく、各福祉分野の PR など相乗効果があり、賑わいをみせています。

### 《令和3年度》

- ・げんきになる木でつながろう  
～マチノマに桜咲く～ (7/3\_4 開催)
- ・提灯で彩る懐まつり (8/28開催)
- ・夢を語ってひまわりでつながろう! スマートフォン相談会  
(12/18\_19開催)

### 《令和4年度》

- ・大田区社会福祉協議会パネル展  
(4/23\_24 開催)
- ・地域包括支援センター大森パネル展&  
見守りキーホルダー登録会  
(7/23\_24 開催)
- 縁市場開催を楽しみにしている方も  
多数いらっしゃり販売時にそういった声が多  
く寄せられています。
- おおむすびを知らない方もいらっしゃり、  
PR 活動の一翼を担っています。



#### 4 今後について

- 令和5年1月21日(土)、22日(日)開催予定
- 年度3回程度を開催予定としております。
- より集客を目指すため、販売会だけの実施ではなく、福祉分野の他イベント等とのコラボ企画を提案していきます。

#### 5 団体名の連絡先

住所:大田区大森西 3-1-38 マチノマ大森

電話:03-6423-0126

【推薦者】大森西民生委員児童委員協議会、大田区手をつなぐ育成会  
大田区生産活動支援施設連絡会



【販売の様子】

笑顔大賞

# 障がい者福祉施設の商品 (自主生産品)販売会への協力 ～グランデュオ蒲田店 会場～

## 1 活動団体

ジェイアール東日本商業開発株式会社 グランデュオ蒲田

## 2 取組の内容

【おおむすびグランデュオ蒲田縁市場】  
 グランデュオ蒲田の地域貢献の一環として、3階東西連絡通路をおおむすび商品  
 (自主生産品)の販売場所として提供していただいております。

## 3 活動を通して(利用者・家族の声)

- JR 蒲田駅及び東急蒲田駅直結の商業施設として、集客が見込める場所であり、毎回売り上げが良いと聞いています。
- 毎回、福祉関係分野とのコラボ開催にもご尽力いただき、おおむすびの PR だけでなく、各福祉分野の PR など相乗効果があり、賑わいをみせています。

《令和3年度》  
 しょうがい者巡回パネル展 (10/2\_3開催)  
 《令和4年度》  
 ポッチャ体験&パネル展 (6/18\_19 開催)  
 しょうがい者巡回パネル展 (10/8\_9開催)

- 縁市場開催を楽しみにしている方も多数おり、販売時にそういった声が多数寄せられています。
- おおむすびを知らない方もいらっしやり、PR 活動の一翼を担っています。
- 区内主要駅に直結しているため、地域の方だけでなく、区内を問わず、区外からもたくさんの方にお寄りいただいております。



## 4 今後について

- 令和5年2月18日(土)\_19日(日)開催予定
- 年度3回程度を開催予定としております。
- より集客を目指すため、販売会だけの実施ではなく、福祉分野の他イベント等とのコラボ企画を提案していきます。



## 5 団体名の連絡先

ジェイアール東日本商業開発株式会社 グランデュオ蒲田

住所:大田区西蒲田 7-68-1

【推薦者】大田区手をつなぐ育成会、大田区生産活動支援施設連絡会



【販売の様子】

# 「おおむすび」 障がい者福祉施設の商品



## 「おおむすび」

「大田区」「お客様」「お気に入り」の頭文字  
3つの「お」を結ぶデザインです。

平成28年度、大田区内障がい者福祉施設の商品(自主生産品)販売促進を図る観点から、多摩美術大学の学生とのコラボにより誕生したロゴマークです。

「おおむすび」と読みます。「大田区」の頭文字「O」の丸い形状から「O→円→縁」と、人と人のつながりのきっかけになるようにとの願いが込められています。

現在では、区内障がい者施設利用者の工賃向上・社会参加を促進する取組みを「おおむすび」と位置づけています。



## 障がい者福祉施設の商品(自主生産品)を

## 購入してみませんか

障がい者福祉施設では、様々な商品(自主生産品)を販売しています。

商品の販売収入から必要経費を引いた収益の全額が、利用者の方への工賃(給料)として支払われます。より多くの方から求められる商品を作ることで、利用者の工賃(給料)向上・社会参加を促進していきます。

利用者の手で一つ一つ丁寧に作られた商品を一度、手にお取りください。

問い合わせは、大田区ホームページから

[https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/fukushi/shougai/sagyo\\_seihin/seisan.html](https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/fukushi/shougai/sagyo_seihin/seisan.html)

大田区ホームページ>生活情報>福祉>障がい者の支援(難病の方への支援を含む)  
>障がい者福祉施設の作業・商品>商品(自主生産品)

# 障がいのある方への情報保障

1	活動団体
	<p>&lt;さぼーとぴあに係る手話通訳者・音訳者・点訳者の方々&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 手話通訳：大田区登録手話通訳者会</li> <li>② 音訳：声の図書室 音訳者一同</li> <li>③ 点訳：てんとう虫 '84</li> <li>④ 点訳：点訳グループ「エスカルゴ」</li> </ul> <p style="text-align: right;">※さぼーとぴあ（大田区立障がい者総合サポートセンター）</p>
2	取組の内容
	<p>長年にわたり、主に聴覚や視覚に障がいのある方の日常生活の向上に寄与し、情報保障の取り組みと意思疎通支援をとおした社会との架け橋として、大きな役割を果たしていただいています。</p> <p>特に、新型コロナウイルスワクチン接種にあたっては、第1回目接種当初からこれまで、継続して聴覚や視覚に障がいのある方へのワクチンに関する情報保障の活動に携わっていただきました。</p> <p>具体的には、手話通訳者のみなさまには、さぼーとぴあに設置した障がいのある方専用の接種会場において、第1回目接種当初から、接種に来場した聴覚障がいのある方への手話通訳活動に携わっていただきました。</p> <p>また、音訳者・点訳者のみなさまには、第1回目接種当初から、接種券郵便物に同封された接種券等説明資料を音訳・点訳していただき、視覚障がいのある方に情報が伝わるように支援をしていただきました。</p>
3	推薦にあたって
	<p>通訳者のみなさまには、主に聞こえない方、見えない方への情報保障の担い手として、また後進の育成に尽力していただいている先駆者として、多大な貢献をしていただいています。通訳をするためには、正しく情報をお伝えするための知識や障がいのある方への気持ちを汲んだ手話、音訳及び点訳をするための繊細な技術が必要です。真摯に取り組んでくださっています。</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種にあたって障がいのある方は、安心してワクチン接種を受けることができました。 (障がい者総合サポートセンター、障害福祉課)</p>
4	活動を通しての声
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聞こえない方々と共に地域への社会参加と理解が、より広がっていくと嬉しいです。</li> <li>○ 私達が居ることで、利用者の方から、思っていることをたくさん話せて嬉しいと言っていた時に頑張ってきて良かったと思います。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(手話通訳者)</p>

- コロナ禍であっても、自宅で作業することで、必要な情報を届けることができ良かったです。
- デイジー図書が、完成した時は、達成感プラス必要な方にお届けできる喜びを感じることができます。
- 音訳作業を通じて、仲間と一緒に学ぶことに感謝しています。(音訳者)
- 皆と力を合わせて、点訳本が完成した時は、達成感があります。  
また、感謝の言葉をいただいた時は、お役に立てたことに嬉しかったです。
- 自分の手で読み書きができる文字を持つことは、生活の質があがり、生きる力にもなると信じています。(点訳者)

## 5 連絡先

大田区立障がい者総合サポートセンター  
電話:03-5728-9133

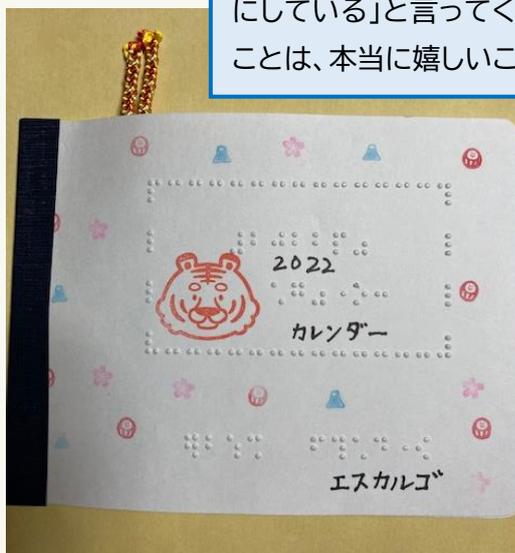


【音訳の様子】



【点訳】

毎年、点字カレンダーを手作りしています。このカレンダーをボロボロになるまで、使ってください「毎年、心待ちにしている」と言ってくださる方がいることは、本当に嬉しいことです。



# 聴覚障がい者の交流と理解

にっこり大賞

## 1 活動団体

大田区中途失聴・難聴者の会



## 2 取組の内容

1 平成18年4月に発足し、今年で16年目です。

生まれつき聴こえ難い人・人生の途中で聴こえ難くなった人・聴こえなくなった人ろう者・その家族・聞こえる人・どなたでも入会できます。聞こえにくくなることによって、周囲とのコミュニケーションが上手いかず、家庭・職場・学校などで孤立し、疎外感や不安、不自由さを感じ悩みを抱えている方々を集い、一人一人に合ったコミュニケーション方法で交流を図りながら会員同士の親睦を深め、生活・文化・福祉の向上を図り、地域社会に寄与することを目指すために取り組みを行っています。

### 2 活動内容

(1) 毎月第3土曜日の例会を開催

(屋内例会) 講演会・手話講座・読話講座

防災講座・カルチャー講座・クリスマス会など

□情報保障(手話通訳・要約筆記・

ヒアリンググループ) 付け対応

(野外例会) 見学会・散策・美術館など

□情報保障(筆談・コミュニケーションボード) 対応

(2) 会報を毎月末に1回発行(役立つ情報を提供)

(3) 手話講座 毎月第1・第3木曜日開催

(新たなコミュニケーションを身に付け、孤独にならないための人間関係を築く場所作りが目的)

(4) 大田区主催「中途失聴・難聴者向け手話講習会」への講師派遣協力

(5) 聴覚障がい者への理解を深めるための啓発活動

(大田区聴覚障がい者理解啓発講座への講師派遣・耳マークや筆談ボード等の周知に努めるなど)

(6) 地域自治体の事業に対する協力など



## 3 団体名の連絡先

大田区中途失聴・難聴者の会

住所: 大田区南千束 1-3-1-514

連絡先 (FAX): 03-3748-3804

にっこり大賞

# 「心のバリアフリーすすめ隊」

～知的障がいの理解啓発活動～

## 1 活動団体

大田区手をつなぐ育成会 心のバリアフリーすすめ隊

## 2 取組の内容

### 1 「心のバリアフリーすすめ隊」とは

障がいのある人が、地域で安心して暮らしていけるよう、「心のバリアフリーすすめ隊」として理解啓発活動をしています。



### 2 目的

(1) 知的障がいの特性について知っていただき、心の中にあるバリア(偏見等)を取り払って、地域で一緒に暮らしているということを感じてもらいたい。

(2) 知的障がいのある方が、ちょっとした工夫や配慮(合理的配慮)があることで、地域で暮らしやすくなることを知ってもらいたい。

### 3 具体的な活動

知的障がいについて知ってもらうために、障がい特性の講話と疑似体験を織り交ぜながらワークショップを行っています。

## 3 児童の声、区民の声

○「差別をしてはいけない。みんな同じ人間なんだという考え方になった。」

「困っている障がい者に会ったらやさしくしたい。」

(授業でワークショップに参加の方)

○「見た目ではわかりにくい障がいについて学ぶことができた」

(区民の方)

## 4 団体名の連絡先

大田区手をつなぐ育成会

住所:大田区大森南 2-15-1

大田区幸陽会会館内

電話:090-2403-7321

E-メール

[otaku.ikuseikai@gmail.com](mailto:otaku.ikuseikai@gmail.com)



# 実行委員会 委員の意見・感想の

一部を紹介します！



## 公益社団法人 大田区シルバー人材センター 様

- ボランティアと施設利用者が土地を耕し作物を育てるという作業を通し、一つの目標に向かってともに行動することで、障がいのある人もない人も心を和ませ、幸せな気持ちになりました。
- 土地が有効活用され皆さんの喜びにつながっている点が評価されます。
- 農業を通じての高齢者と利用者の「ふれあい」が見えるようです。本格的な作業にも期待できるような「様子」(写真)です。作物の地域還元もできそうですね。

## コミュニティスペース にしかまた運営委員会 様

- ご近所さんが気軽に立ち寄れるスペースがあることで、交流の場となり障がいの有無や老若男女を問わず心のオアシスになっていますね。
- 区民の皆さんに障がい者への理解・啓発が深まる活動だと感じました。
- 近所の方々との交流が図れ、助け合いの地域づくりへの貢献に結びつくでしょう！
- すぐそばに小学校もあり、日ごろから自然に「理解し合う」ことが大切ですね。共生のまちづくりの実践とします。
- 様々な方が自然体で立ち寄れる「居場所」は、障がいのある人もない人も笑顔になる地域活動だと思います。

## 無印良品グランデュオ蒲田 様

- なかなか知らない方が多い障がい者施設のことや利用者のことを、絵画展を通して多くの方にPRしていただき、ありがたいと思います。
- 絵の制作することは、素晴らしいことです。回を重ねていただきたいと思います。
- 大きな企業の支援はとてもPR効果が大きいと思います。「おおむすび」との太い連携が望まれます。
- 自身の作品を多くの方に見ていただくことは、大きな励みになります。展示の場所を提供いただきありがとうございます。

## マチノマ大森 様      グランデュオ蒲田 様

- 障がい者の工賃向上社会参加につながる良い取り組みと感じました
- 自主生産品は、販売場所がないと売り上げにつながらず、売り上げがあがることは利用者の賃金の向上にもつながります。ご協力に感謝します。
- 蒲田、大森と2大拠点で「おおむすび」の活動できるのはうれしい限りです。他のイベントとのコラボも楽しみにしています。
- 人の集まる大きな商業施設で、おおむすびのPRと販売場所を設けていただき、ありがとうございます。

### さぼーとぴあに係る手話通訳者・音訳者・点訳者の方々 様

- 障がいのある方専用接種会場では、大変お世話になりました。感謝申し上げます。
- 聴覚・視覚障がいの方々のためにご尽力されていますことに感謝します。
- コロナ禍での情報保障は、大げさではなく命に関わる支援です。
- 障がい者にとって大切な方々です。日々の生活において頼りになる皆様方には、心から感謝しています。

### 大田区中途失聴・難聴者の会 様

- 東京都では手話言語条例が令和4年9月1日に施行されました。これからも手話が多くの方に理解され広まるよう期待しています。
- 仲間の存在というものは、大きな心の寄りどころです。これからも福祉の向上を目指して活動されることを期待しています。
- 16年間という長い間の地道な支援に頭が下がります。中途失聴・難聴という難しい課題もあったかと思えます。孤立化を防ぐことも含めての取り組みにもつながっていると思います。

### 大田区手をつなぐ育成会 心のバリアフリーすすめ隊 様

- 障がい者の特性を理解してもらうことが一番大切です。活動を応援しています。
- 「共に生きる社会をめざして」多くの人たちが、正しい理解が得られる活動に尊さを強く感じます。
- ワークショップという具体的な場で「心のバリアフリー」を進めることは、とても効果のあることだと思います。当事者参加がインパクトと考えるきっかけになればいいですね。

(順不同)

## おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

団体名	団体名
大田区重症心身障害児(者)を守る会	大田区精神障害者家族連絡会
大田区肢体不自由児(者)父母の会	大田区自立支援協議会
大田区手をつなぐ育成会	大田区民生委員児童委員協議会
特定非営利活動法人 大身連	大田区社会福祉協議会
大田区肢体障害者福祉協会	大田区少年少女団体協議会
大田区視覚障害者福祉協会	大田区スポーツ推進委員協議会
大田区聴覚障害者協会	大田区就労継続支援施設代表
大田区中途失聴・難聴者の会	大田区生活介護施設代表
日本オストミー協会東京支部大田部会	

おおた みんなのつどいプロジェクト表彰実施要綱

令和4年7月15日

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

(目的)

第1条 この要綱は、おおた みんなのつどいプロジェクトの取組の一つとして、障がい理解を取り入れた地域活動等（以下「地域活動」という。）を表彰すること（以下「表彰」という。）により、障害者基本法（昭和45年法律第84号）第7条に規定する地域社会における共生、差別の禁止等の基本原則に関する区民の関心及び理解が深まることを目的とする。

(事業内容)

第2条 表彰の対象となる地域活動は、障がいのある人もない人も笑顔になるものであり、かつ、大田区内の各地域において障がい理解を実践的に取り組んでいる内容とする。また、地域活動の内容は、広く周知できるものでなければならない。

(対象外の活動)

第3条 次に掲げる地域活動は、対象外とする。

- (1) 営利目的の活動
- (2) 宗教、政治活動

(応募資格)

第4条 大田区内で活動実績がある団体、企業等とする。

(応募方法)

第5条 応募は、「おおた みんなのつどいプロジェクト表彰応募用紙」（別記様式）に地域活動の内容を記入して提出するものとする。応募にあたっては、自薦他薦を問わない。ただし、他薦の場合、地域活動主体からの同意を得たものでなければならない。

- (1) 地域活動の実施前に応募する場合は、開催の案内等を添付すること。
- (2) 地域活動の実施後に応募する場合は、事業の案内、写真等実施したことがわかる資料を添付すること。ただし、応募及び写真の添付等について参加者等から同意を得なければならない。

(3) 提出先 事務局（大田区福祉部障害福祉課）

(募集期間)

第6条 令和4年7月15日から令和4年10月31日までとする。

(審査、表彰)

第7条 応募のあった地域活動の中から「おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会」（以下「実行委員会」という。）で審査の上、先進的な取組などを障害者週間の12月3日に表彰するものとする。

(その他)

第8条 その他必要な事項は、実行委員会が別に定める。

付 則

この要綱は、令和4年7月15日から施行する。

# 障がいのある人もない人も 笑顔になる地域活動を募集♡

地域共生社会の実現に向けて、障がい理解を取り入れた実践的な地域活動を募集しています。

応募いただいた地域活動は、広く区民に紹介します。

また、実行委員会で審査の上、先進的な取組などを障害者週間の12月3日に表彰します。

## 1 障がい理解の実践的な取組とは？

(例)・地域団体等が障がい者とともに実施する防災訓練

・企業等における障がい理解研修

・各種団体が障がい者とともにスポーツ・音楽・芸術に触れる機会の提供など

## 2 応募方法

応募に当たっては、大田区 HP の実施要綱を確認してください。応募用紙は、HP からダウンロードできます。

□ メールで応募する場合：[shofuku-tsudoi@city.ota.tokyo.jp](mailto:shofuku-tsudoi@city.ota.tokyo.jp)

□ 郵送又は持参等で応募する場合は、  
問い合わせ先までお願いします。

応募締め切り | 10月31日

みんなのつどい



©大田区

はねぴょん

### ■問い合わせ先

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

事務局：大田区蒲田 5-13-14 大田区役所 福祉部障害福祉課

電話：03-5744-1253 FAX：03-5744-1555

## 編集後記

大田区しょうがい者文化展（令和4年10月に池上会館で開催）には、たくさんのひまわりの作品が出品されました。太陽に向って高く大きく花咲くひまわりのように、人それぞれの、地域の皆様それぞれの活動により、障がいのある人もない人も笑顔になれる共生社会を目指してまいりましょう。



久が原福祉園  
利用者：作



大田生活実習所  
手工芸班：作



上池台障害者福祉会館  
医療的ケア室：作



上池台障害者福祉会館  
泉 眞貴子：作



障がい者総合サポート  
センター  
生活訓練室：作



志茂田福祉センター  
作田 ゆかり：作

しょうがい者文化展  
で見つけた  
それぞれのひまわり



# おおた みんなのつどいプロジェクト

じっ ころ い いん かい  
実行委員会

れい わ ねん がつ  
令和4年12月